

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	観光課長	廣川 正
市民-06	重点事業	観光施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 観光課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	安全で快適な観光空間の整備

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対象	観光客等	・観光客の誰もが安全で快適に観光できるように、観光案内板等の新設・改修・修繕や、公衆トイレの改修・修繕、ハイキングコースの安全確保等観光客の受入環境の整備を行った。 ・東京オリンピック・パラリンピックの開催を視野に入れ、外国人観光客の利便性向上を目指し、屋内型Wi-Fi接続設備の設置補助や屋外型Wi-Fi接続設備の維持管理を行った。
意図	観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。	
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数	
運営資源状況	決算値(千円)	95,264	16,710	当初予算(千円)	28,564
	国県支出金	14,581		国県支出金	
	地方債	17,900		地方債	
	その他			その他	2,585
	一般財源	62,783	16,710	一般財源	25,979
	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0
			会計年度任用職員配置数	0.0	
	人件費(千円)	9,124	8,717	人件費(千円)	8,727
事業経費運営	総事業費(千円)	104,388	25,427	総事業費(千円)	37,291
	市民1人当りの経費(円)	592	144	市民1人当りの経費(円)	211
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか 今後も市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか ○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 公益社団法人鎌倉風致保存会	
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	受益者負担の観点から収入確保策を検討し、財源確保に努めるものの観光客の利便性向上を図る公衆トイレ等の施設は年々老朽化が進み、修繕等の施設整備に係る費用が増大しているため。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	施設整備については、既存施設の耐久性を確認するとともに、計画的な修繕計画による長寿命化を図る。また、受益者負担の観点による収入確保を図る。		

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	観光客の集中する地域のトイレの新設、改修、洋式化については、用地や財源の確保を検討する必要がある。また、「鎌倉市公衆便所建設工事費等補助金」をより活用してもらえるような周知啓発を行っていく必要がある。ハイキングコースについては、台風の影響による倒木等の被害からの復旧作業が未実施の部分を含む、ハイキングコース全体の今後の管理について、方針決定が必要である。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	ハイキングコースについては、台風の影響による倒木等の被害の対応を令和2年度までの繰越明許費で実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	年々費用が掛かっている施設の維持管理に係る費用の捻出が必要であり、受益者負担の観点からの収入確保策の導入が課題となっている。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成30年度) 単位:千人								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	川崎市	箱根町
他市実績	19,871	18,392	2,954	8,572	1,001	6,371	46,863	20,613	21,260

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村が行っている入込観光客数調査において、鎌倉市は県内で4番目であるが、面積は上位3市町よりも小さいことから、他市に比べて観光客が密集していることが伺える。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)						単位	%	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			令和元年度(2019年度) 数値調査件数:556件+2件(WEB)
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0			
	実績値	79.2	79.5	76.6	78.9	88.1	87.1			
	達成率	93.2%	93.5%	90.1%	92.8%	103.6%	102.5%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標値を上回っていることから、引き続き維持または向上させるよう努めたい。
-----------------------	--------------------------------------